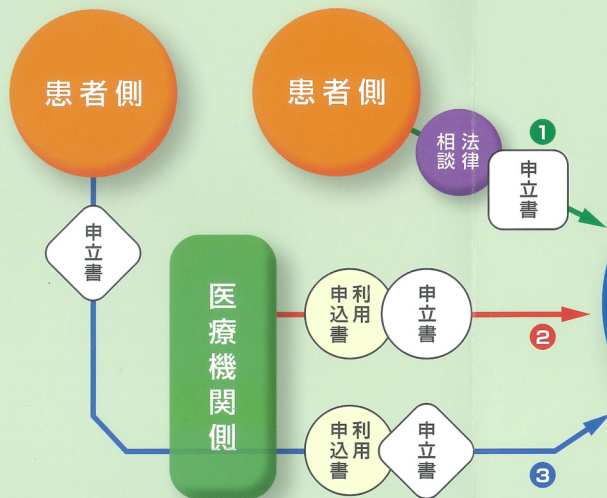


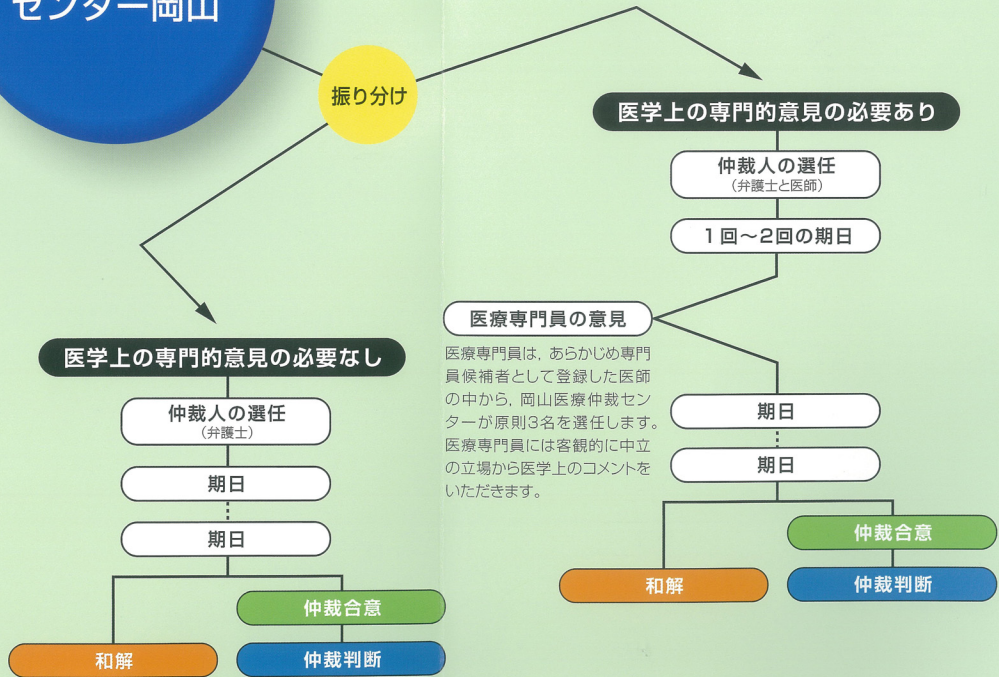
# 和解のあっせん・仲裁の 手続の流れ



医療機関側と患者側との間でトラブルが生じた場合、中立の立場の弁護士（仲裁人）が間に入り、双方の話し合い（対話促進）による解決を目指して、和解あっせんを行います。事案によっては、中立の立場の医師も弁護士と共に仲裁人として和解あっせんに加わります。また、医学上の専門的知見が必要な場合、複数の専門医（医療専門員）から意見を述べてもらうこともあります。なお、双方の当事者が仲裁人に解決のための結論を委ねた場合、仲裁人が仲裁判断をすることもあります。

## ■ 申立方法

- ① 患者側（患者のご遺族を含みます。）が医療仲裁センター岡山に直接申し立てる方法。② 医療機関側が単独で申し立てる方法のほかに、③ 患者側が医療機関側を通じて申し立てる方法があります。詳しくは、岡山弁護士会のホームページ (<http://www.okaben.or.jp>) をご覧ください。
- 申立手数料 **10,500円**（税込）  
申立の際にお支払いいただけます。なお、申立方法①の患者側が直接申し立てる場合には、患者側に負担していただけますが、申立方法②、③の場合には、医療機関側に負担していただくことになります。
- 期日手数料 **双方で21,000円**（税込）  
期日1回ごとにお支払いいただけます。なお、申立方法①の患者側が直接申し立てる場合には、医療機関側と患者側にそれぞれ10,500円ずつ負担していただけますが、申立方法②、③の場合には、医療機関側に負担していただくことになります。



# Mediation

医療機関側と患者側との間でトラブルが生じた場合、中立の立場の弁護士（仲裁人）が間に入り、双方の話し合い（対話促進）による解決を目指して、和解あっせんを行います。事案によっては、中立の立場の医師も弁護士と共に仲裁人として和解あっせんに加わります。また、医学上の専門的知見が必要な場合、複数の専門医（医療専門員）から意見を述べてもらうこともあります。なお、双方の当事者が仲裁人に解決のための結論を委ねた場合、仲裁人が仲裁判断をすることもあります。